

**3月4日石原社長定例記者会見概要**

3月4日午後3時から、石原社長による定例記者会見が、放送センター20階役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

<編成関連>

年末年始は、全日、ゴールデン、プライムのいずれも、民放で2位に肉薄する3位とまずまずの健闘をした。その後若干苦戦が続いている状況だ。そんな中でも、土曜の『炎の体育会 TV』や『ジョブチューン』が健闘しており、金曜日から日曜日については、良い流れができてきたと感じている。

ソチ五輪では、TBSは日本人選手の3つのメダル獲得の瞬間を放送することができた。特に2月11日のゴールデン・プライムの長時間放送では、18.0%を記録するなど、多くの視聴者の皆様に感動をお届けできた。3月7日からソチパラリンピックも始まるが、TBSでは『朝ズバッ!』の中で特別枠を設けるなど、積極的に取り上げていく。

4月改編の目玉は、朝の情報系ベルト番組の改編だ。3月31日から、新しく『あさチャン!』と『いっぷく!』の2番組がスタートする。新しいキャスターを迎え、朝、一番知りたいことをいち早くお届けする番組だ。今後、長く視聴者の皆様に愛されるよう頑張っていきたい。また、ドラマでは、半沢直樹でおなじみの池井戸潤さん原作、『ルーズヴェルト・ゲーム』を日曜劇場で放送する。主演は唐沢寿明さんで、企業の野球部を舞台にした物語だ。こちらも楽しみにしている。

<営業関連>

タイムセールスは、年末年始セールスが前年より早く完売し、売上も前年度実績を上回った。単発ではソチ五輪と3月後半の2夜連続ドラマ『リーダーズ』が大きく売上に寄与しているが、ネットタイム全体としては前年実績を下回る見込み。ローカルタイムは前年実績を上回る見込みで、来年度のレギュラー番組の改編セールスも終盤を迎えており、今年度下期並みの売上を確保すべく作業中だ。

スポットセールスは、東京市場は秋からの好調を持続していて、1月は前年実績を上回った。2月、3月も好調で、通期でも前年実績を上回る見込み。

4月以降のセールスは、タイムについては、ネット、ローカルともに春の改編作業はほぼ終了、レギュラーの売上は2013年度下期並みとなっている。スポットについては、4月の出足もまずまず堅調で、前年実績まで確保すべく作業中だ。

<事業関連>

映画では、「抱きしめたい—真実の物語—」が興行収入 13 億1千万円、動員 110 万人のヒットとなっている。北海道放送のドキュメンタリー番組「記憶障害の花嫁」でも知られる実話を、北川景子さん、錦戸亮さんを迎えて映画化したもので、来場者アンケートでの満足度も高い。

舞台では 3 月 12 日から日生劇場で、「オペラ座の怪人」の続編であるミュージカル「ラブ・ネバー・ダイ」を上演する。市村正親さん、濱田めぐみさんら豪華なキャスティングも評判となっており、総キャパシティ 8 万人という大イベントながら完売の勢い。

海外展開では、3 月 17 日から台湾の大手ケーブルテレビ局 GTV で、「TBS アワー」の放送をスタートする。毎日夜 11 時から 1 時間、TBS のドラマを放送するもので、新作ドラマについても可能な限り早く放送していきたい。

また、マレーシアでは「SASUKE」初の国際大会が開催された。2 月 21 日から 3 日間開催された大会では、「SASUKE」を 3 つの種目別に競技化し、個人戦と国別対抗戦が行われた。ASEAN 各国に加え、アメリカ、台湾、日本などの 7 つの国と地域から 200 人を超える選手が参加した。

冬の赤坂サカス恒例のスケートリンクは、今年はソチ五輪の影響もあって家族連れやカップルなどを中心に、例年以上に多くの方々に御来場いただいた。大雪もあったが、シーズントータルの入場者は 5 万人あまりと過去最高となった。

<ラジオ関連> TBSR&C 入江社長

東日本大震災から 3 年となる 3 月 11 日、早朝 5 時からの『生島ヒロシのおはよう定食・一直線』では生島さんの出身地でもある宮城県気仙沼の復興屋台村特設スタジオから全面中継。また、午後のワイド番組内で震災追悼式典の様子を中継するほか、夕方の『荒川強啓デイ・キャッチ』は宮城県取材後のパーソナリティがスタジオに石巻市立中学の先生を迎えての放送を予定している。伝説の深夜番組とも言われ 1967 年から 15 年続いた『パック・イン・ミュージック』で 3 月にイベント、CD 発売、特別番組を展開する。

営業関連、上期はスポットが苦戦していたが下期はタイムが厳しい状況だ。着地に向けて 3 月のキャンペーン企画のセールス、イベントなどの収入に期待したい。

以上